

令和3年1月25日

Vol.10

中津高職員が届ける

卒業生からのメッセージ

お待たせしました～。第10号は喜多川先生がお届けする
アメリカでトヨタ自動車のエンジニアとして活躍中の
深谷祐矢さんです。

現在アメリカ在住、日本を愛する97年卒業・深谷です😊皆さんコロナ禍をどうお過ごしですか？米国ではインターネットを利用したリモートワーク/スタディが完全浸透、アウトプットの効率化を求める意識改革が全国民に起きました。コロナ感染者数においては日本は累計24万に対し、米国は

“毎日”20万の新規患者が発生中。そんな良くも悪くも桁違いの国で働いてますが、皆さんは将来、どこで働くのか？それが決まるのは今か？もっと先か？そして決まった後は？そんな話を少しだけ、していきましょう。

祐矢君は同じ福岡町出身の幼馴染で、保育園から高校までずっと一緒に過ごしてきました。大人になっても定期的に出会っている深い付き合いの友人です。クレバーなだけでなく、ユーモアのセンスもあって、一緒にいると本当に楽しいです！（喜多川）



【自己紹介】

名前:深谷祐矢(ふかやゆうや)

年齢:42歳(喜多川先生の幼馴染っす！)

勤務先:トヨタ自動車株

職種:エンジニア(主に外国の新エンジン生産ラインをデザイン、現地で指導)

現住所:USA Kentucky 州 Lexington 市

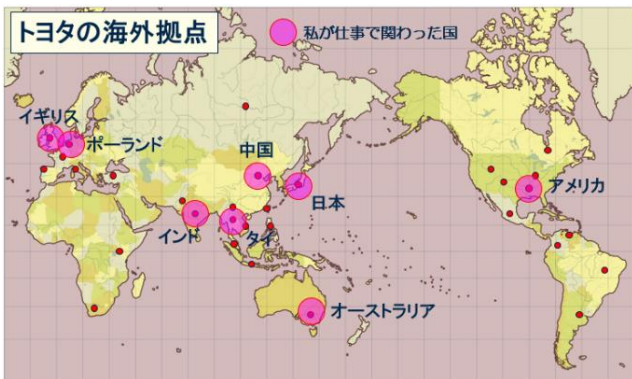
愛車:タンドラ TRD スポーツ(テカすぎ。フリクスより長さ+1300mm、幅+300mm)

趣味:フラモデル&Twitterへの写真投稿

◎4つに章分けして話をしていきます。伝えたい事は、未来に向けた皆さんのビジネスマインド向上とやることの明確化です。今の自分を客観的に比較しながら読んでいただくと理解が深まると思います。

- 1、仕事のやりがいとハードル
- 2、自分の将来を決めるのはいつか
- 3、高校/大学で養っておくと良いこと
- 4、あなたが世界の中で日本を成長させる

上記の興味のある項だけ見ていただいても十分です。



1. 仕事のやりがいとハードル ~深谷の場合~



私はエンジン生産技術部という部署に所属しています。エンジニアの仕事=エンジニアリングは製品を合理的かつ経済的に生産するための技術を駆使する事。つまりわが部署においては「安くて良いエンジンを速く確実に生産するライン」を設計/実現することです。仕事フローを下図に表します。やりがいは何といても「自分の考えた生産ラインでモノが生み出される事」。実際に設備が導入され精度をチェックし、鉄の塊が最後エンジンになるのを見るのは毎回胸が高鳴るものです。



この仕事フローにおいてハードルは数えきれないくらい存在します。エンジンの設計問題、生産国の法規問題、作業者との人間関係など毎回飽きさせません。特に海を超え違う国で働くのは難しい。彼らは言葉だけでなく、考え方、行動全てが異なります。先日トヨタを辞めた人の転職理由「トヨタは飲み物がタダじゃないから、飲み物がタダのマクドナルドに行くよ」。これは極端な例ですが、いやー参りました。



私のグループは Machining (機械加工) 担当、通称”M”ですが、トラブルとそれに喜んで立ち向かう人が多いため「M(マゾ)部署」などと揶揄されます。まさにド M 根性が原動力。今時流行りませんがね🤪

2. 自分の将来を決めるのはいつか ~ゆっくり自分の道を絞りこもう~



身も蓋もないですが、結論から言うと「将来が決まるタイミングなんてわからない」です。自分の就職までの道を振り返るとこう。“高3まで自衛隊目指す→落選→働きたくなかったので浪人→大学→偶然研究室に来たトヨタ推薦に応募→内定”。受け身ですね～。こんな人生でいいのか？

よく「自分のやりたい事、熱中できる事を探せ」という人がいますよね。あれ苦手なんです。そもそも学生は人生経験が少なく、知らない事も多いのに1つに視野を狭めようなんて勿体ない。でも自分の進路は決めないといけない。じゃあどうする？ここは発想の転換です。「自分がやりたくない事は何だろう」を悩んでみるんです。「これはやだ」「あれ自分の感覚と合わなさそう」。その内ゆっくりぼんやり残る物があります。その領域は人によって狭かったり広かったり。そこを目指して進めばいいんです。狭ければ集中しやすいし、広ければその方向で挫折失敗しても、別の道を選び直せる。

かくして私は自分のやりたくない事を避けてきた結果、適度なストレスと共存しながら最終的に自分のやりたい事をやれる充実した生活を送っています。これが私が自分の経験から得た知見です。ただその道で文句を言われないよう自分なりの努力をする必要がありますが😓

3. 高校/大学で養っておくと良いこと ~英語は言わずもがな、自分の経験値を増やしておこう~

将来の大きな方向の決め方をぼんやり知った後は、もっと具体的に何を学ぶべきかを見ていきましょう。大学合格という視点ではなく、あくまで社会人として活躍する視点でのアドバイス3点です。

★[英語力強化]…絶対に必要。絶対です。グローバル化が叫ばれて久しいですが、未だ日本人は社会に出るまで日本語しか使わない。間違いなく世界で最も英語が下手な人種です。先日うちの職場でも、日本人の英語が Japanese English、略して「Janglish」などと呼ばれバカにされていました。しかし5歳児レベルの英語力の人をビジネスの中心に置けるわけがないですよね？この屈辱を若い方たちに覆してほしい。目指す基準は TOEIC900 点以上。一度実力を確認してみよう😓私は620点っす。。

★[職業経験値稼ぎ]…大学に行ったら学業もそこそこに色々なバイトにトライして下さい。「バイトばかりの奴は何のために大学行ってんだ」って？就職するとその会社以外の仕事を知るのが難しくなります。色々な職種を学び人生の選択肢を増やす！これに時間を費やせるのも大学進学の大きなメリットでしょう。この経験値は自分に心の豊かさや余裕を与え、コミュニケーション力、社会力も向上させます。バイト代はオマケ。

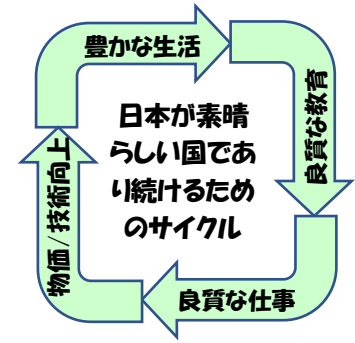
★[マナーリテラシー向上]…まずはこの言葉を検索して意味を理解してください。日本の物は品質が良いのに安い。しかし労働者の給料も安い。それは良い事悪い事!?簿記3級資格が取れるまで勉強してみよう。世界や日本、各企業の経済的ポジションを把握でき、良いもの悪いものが客観的に判断できるようになりますよ！



米人リーダーと議論中

4. あなたが世界の中で日本を成長させる ～日本を愛しながら働く～

私が海外で生活/仕事をして感じたことは「日本は素晴らしい、しかし厳しい状況にある」です。素晴らしい環境とは、教育/安全/サービス、そして美味しい食事😊 厳しい状況とは物価と賃金が見合っていない、島国ゆえ世界の潮流を掴みにくい、つまりいずれ先進国の後塵を拝するということ。私は Facebook や Twitter をよく見ますが、老若男女問わず日本人が日本をディスりがちです。皆の中にある「このままでいいのだろうか」という漠然とした不安がそういう発言を生むのでしょうか。



しかし SNS で文句ばかり言ってる人達はまさに日本を退化させる井の中の蛙。一度どこでもいいので海外で1年暮らしてみてください。すると海外の良さを感じる一方で、日本の良いところを沢山見つけることができます。何でもそうですが比べずして自分のポジションを知ることはできません。

海外の多様な文化背景を持つメンバーと楽しく仕事をしつつ、自分の歩いている道に自信を持ち、また日本人としての誇りも持ち、社会の中で活躍する。中津高の皆さんはそのポテンシャルを高く秘めている事を私は知っています。一緒により良い未来を築きましょう、I love Japan!!

最後に、このよう機会を与えていただいた母校・中津高校に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。